

平和を希う念仏者の集い□1  
 阿弥陀さまと私□2  
 新・祖蹟点描□3  
 青色青光□4  
 戦争体験語る～大空襲～□6  
 実践運動推進計画□8  
 教区・鷺森別院予算□9  
 響流十方□10  
 つれもて聴こら□12



2019年(令和元年)

8月1日

第121号

発行:「御同朋の社会をめざす運動」和歌山教区委員会 〒640-8053 和歌山市鷺森1番地 本願寺鷺森別院内 TEL(073)422-4677 URL <http://saginomori.or.jp/>

# 「世のなか安穏なれ」のお心胸に

## 教区挙げ、全戦没者を追悼

### 第26回「平和を希う念仏者の集い」

「和歌山大空襲」の日に全戦没者を追悼するとともに、非戦・平和への願いを新たにし、いのちの尊厳を守る取り組みを進めようと、「第26回平和を希う念仏者の集い―全戦没者追悼法要―」が7月9日に鷺森別院本堂で開かれ、教区内から250人が参拝した。



↑仲尾教務所長が導師を務め、教区内から13人が出勤して厳かに勤められた法要（鷺森別院本堂）

追悼法要は午後1時25分、各組代表の門信徒ら14人の献灯献花で始まった。引き続き内陣に組長ら13人が出勤して正信念仏偈をお勤め。導師を務めた仲尾信博輪番は、お勤めに先立つ「表白」で、「私たち念仏を申す者は、宗祖の教えに背き、仏法の名において戦争に積極的に荷担していった過去の事実を、あらためて仏祖の御前に慚愧し、本日の法要に際して、親鸞聖人の願われた『世のなか安穏なれ、仏法ひろまれ』とお心を

体して、戦争で亡くなられたすべての方々を追悼いたします」と、法要の意義を述べた。  
 法要後は、教区寺族女性コーラスグループ「かりょうびんが鷺森」が、『逢えてよかったね』（作詞作曲・小原孝）などを披露。参拝者にも歌唱指導し、最後は全員が声を合わせ歌った。続く「戦争体験を聞く」となり、「和歌山大空襲」では、教区内の2人がパネリストとなり、大空襲の記憶を語った【6の面に詳報】。

ご本山で  
**2023年春に慶讃法要**  
 親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年



本願寺に掲げられた高札（本願寺新報社提供）

宗門では2023年（令和5）に親鸞聖人がご誕生されて850年、翌年は、聖人が浄土真宗を開かれて（立教開宗）800年という記念すべき年を迎える。ご本山ではこれを機縁として、2023年春に慶讃法要をお勤めする。4月15日には「5期30日間」となる法要期日が発表され、御影堂門横にこの法要を知らせる高札を掲げる「立札式」が行われた。

# 阿弥陀さま

## ハウツー仏事と私

### ②3 通夜 勤行

前号から葬儀に関わる一連の法要を取り上げて解説しています。

ほとんどの通夜・葬儀が専用の会館で行われるようになったのはいつごろでしょうか。それまでは通夜だけでも自宅で営む方が多かったのが、都市部では、すでに1990年代に現在のような形での通夜・葬儀が定着してしまったように思います。

込まれつつあるのは、またとに憂慮すべきことです。しかし、こういう状況だからこそ、浄土真宗における通夜・葬儀の意義をしっかりとお伝えしていきたいものです。

さて「臨終勤行」を終え、故人のご遺体を棺に納める「納棺」を行い、その際、浄土真宗では「南無阿弥陀仏」と書いた「納棺尊号」を一緒に納め、「納



筆者の寺・了賢寺の前坊守通夜勤行の内陣お荘厳。ろうそく立てと花瓶を各一对の五具足としました。

を追憶して、仏恩報謝の懇念を深め、法義相続の場とする」とあります。

つまり、亡き方と苦楽を共にした者が阿弥陀さまの前に参集し、亡き方をしのびつつ阿弥陀さまのおすくいをお聞かせしていただき、亡き方の命の行き先であるお

電話法  
おにさん  
鷺森テレホン  
073-422-0243

こころの電話 (海南組西光寺)  
TEL(073) 487-2430  
ヤングこころの電話 (同上)  
TEL(073) 487-0404  
こころの電話 (御坊組専福寺)  
TEL(0738) 44-0874

浄土に思いをはせる大切な仏事が、通夜勤行です。筆者の生まれ育った滋賀

【お荘厳】通夜勤行のお荘厳(お飾り)は臨終勤行と同様、三具足(ろうそく立て・香炉・花瓶それぞれ一具)としますが、仏華は密などの青木から赤色を選けた生花に変え、それ以外は臨終勤行と同様、ろうそくは白、前卓には白か無地の打敷を掛けます。

なお、通夜や葬儀を自宅で行わない場合も、ご自宅のお仏壇の扉は開け、同じようにきちんと右記のお飾りしてください。

【お勤め】通夜勤行の次第は、仏説阿弥陀経・念仏・和讃二種・回向、または、正信念仏偈・和讃六首・回向のあと、法話と御文章拝読とされています。

【お棺には七条袈裟】お棺には、七条袈裟と修多羅を掛けるのが正式です。浄土真宗の通夜・葬儀は、故人もまた七条袈裟と修多羅の礼装で、阿弥陀さまに向かいお勤めする形を取っているからです。

(松本教習・「御同朋の社会をめざす運動」和歌山教区委員長)

## 亡き人しのび、お浄土に思いはせる

棺勤行」をいたします。

このときに注意したいのは、ご遺体に経帷子を着せ、手甲脚絆、草履、杖、頭陀袋、頭に三角頭巾を着けるなど、いわゆる「冥土への

旅支度」という装束での納棺はしないということです。

そして、葬儀までの毎夜、前日の夜に親族や有縁の人々が集まって行う仏事が「通夜勤行」です。

浄土真宗本願寺派の『葬

儀規範勤式集』には、通夜勤行の意義として、「葬儀の前夜に、近親者や友人、知人など苦楽を共にした人びとが仏前に相集い、故人

県の湖西地方では、通夜の

ことを「夜伽」と言っておりました。まさに、一晩中故人のそばに付き添い、故人との最後の夜を共に過ごす大事な慣習でした。

新

## 祖蹟点描

23 東大寺

『法然上人行状絵図』巻三十によれば、浄土の教えについて諸宗の僧と談論した大原問答(大原談義)から5年後の「建久2年(1191)のころ」、法然聖人(法然房源空聖人、1133~1192)は、大原問答にも同席していた俊乗房重源(1121~1206)に招かれ、東大寺で「浄土三部経」(無量寿経・観無量寿経・阿弥陀経)の講義を行った。



現在の大仏殿。横幅は創建時の約7割、高さは同じ48.7m

## 法然聖人、浄土三部経を講義

焼き討ちによって焼失。重源は、その翌年に東大寺造営の「大勸進職」に任ぜられ、再建のための寄進を求めて奔走、また自ら工事の指揮に当たるなど献身的な努力を続けていた。そのかいあって、新たに

90年(建久元)10月19日に上棟式、1195年(建久6)3月12日に落慶法要を迎えようとしていた。法然聖人の講義は、『行状絵図』に「大仏殿のいまだ半作なりける軒のしたにて」とあり、造営途中の大仏殿に、重源が入宋した際に持ち帰った「観経の曼陀羅」という観無量寿経に

基づき阿弥陀仏を中心に極楽浄土の様相を表現した絵画と、浄土五祖(曇鸞大師・道綽禪師・善導大師・懷感禪師・少康法師)の御影を掛けて行われたという。幸い、このときの講義内容とおぼしき『無量寿経釈』『観無量寿経釈』『阿弥陀経釈』が、法然聖人の著作として残っている。

ただし、講義の年時は、『阿弥陀経釈』の奥書に文治6年(1190)2月1日、『観無量寿経釈』の奥書に同2月2日と記され、『行状絵図』の記述より一年早い(『無量寿経釈』には奥書がない)。東大寺といえば、聖武天皇の勅願によって8世紀半ばに創建された華嚴宗の本山。藤原家の氏寺・興福寺と並び、奈良時代からの学問仏教の根本道場である。講義の場には、三論宗や法相宗の碩学の僧が集まり、「腹巻」と呼ばれる胸に巻

き付ける略式の鎧で武装した者も多数いて、やや緊迫した雰囲気だったという。そのなかであって法然聖人は、さとりを求める教え(聖道門)よりも浄土往生を説く教え(浄土門)がすぐれていることを頭かにするため、善導大師(613~681)の解釈を主とし、そこに諸師の解釈と自説を加えながら、経文に即して講義を進めていかれた。

今、浄土三部経の『釈』を見てみると、法然聖人が「選択」という言葉に大きな意味を見出されていることが分かる。選択とは、阿弥陀仏が何を選び取られ、何を捨てられたかである。そもそも阿弥陀仏は、法蔵菩薩として世自在王仏のもとにあったとき、二百十億もの諸仏の国土(浄土)

をくまなく、その浄土に住まう人々や神々の善悪、国土の好ましいところと醜いところを見極められた。そして、この上ない浄土を建立しようと四十八の願いをおこされたのである。それらの願いには、阿弥陀仏のお心によって何が「選択」されたかが示されている。

## 東大寺

場所 奈良市雑司町406-1  
電話 0742(22)5511  
交通 JR奈良駅から市内循環バスで10分、または近鉄奈良駅から同バスで4分、「東大寺大仏殿・春日大社前」駅下車、徒歩約5分。



色とりどりの風船で親鸞聖人のご誕生を華やかにお祝い

# 青色青光

## 園児らで別院にぎわう

鷺森幼稚園で親鸞さまの誕生日

本願寺学園鷺森幼稚園で5月21日、宗祖親鸞聖人の誕生日をお祝いする「降誕会」が行われた。

午前中は、鷺森別院本堂で元気いっぱい園児のお勤め、続いて、保護者らのコーラスグループ「エコーさぎのもり」による讃歌などが披露された。会場を別院境内に移し、園児と保護者による恒例の風船上げ、昼食後は年長園児による相撲大会が行われ、にぎやかな一日となった。

## 春の恒例法要と初参式

5月13から16日の4日間、鷺森別院では「二尊会」が厳かに営まれた。法要期間中は、鷺森別院の起源である冷水道場（現在の了賢寺）の開基・了賢が本願寺第8代蓮如上人から賜り、紀州門徒のよりどころとなってきた「二尊像」を本堂内陣に奉懸。

二尊像に描かれている親鸞聖人と蓮如上人のご苦勞をしのび、ご遺徳に感謝し、5月19日は、鷺森別院で宗祖降誕会が勤められた。法要に先立ち午前11時から行われた初参式では、幼稚園児と小学生合わせて12人が受式。

午後1時30分からの法要では、組長など11人が出勤して正信念仏偈をお勤め。引き続き、幡多哲也師（兵庫）の法話を聴聞した。

## 念仏者としての生き方考える

ご本山で恵信尼さま顕彰・平和の日の集い



近畿6教区の仏婦連盟委員長が壇上に（開会式）

4月26日、和歌山教区仏教婦人会連盟が担当して、「第32回恵信尼さま顕彰・平和の日の集い」を本願寺聞法会館で開催。近畿6教区の婦人会会員ら306人が参加した。

この集いは「世のなか安穏なれ 仏法ひろまれ」の願いのもと、夫である親鸞聖人と共に歩まれた恵信尼さまを慕い、一人の女性としての、また念仏者としての生き方を考えるため、毎年開催されている。

## ビハーラサロン始まる

ビハーラ和歌山では6月21日、第1回「ビハーラサロンおしゃべりカフェ ひだまり」を鷺森ホールで開催。

苦しみ、悲しみを抱えた人の話を聞かせていただくこと開設。今後は10月4日と来年2月3日に開催予定。

## 仏具ピカピカに



おみがぎに参加した婦人会の方々

鷺森別院では5月9日、鷺森別院婦人会と若さき会の会員ら13人が、鷺森別院本堂でおみがぎを実施。

午前11時に集まり、約1時間、書院の輪灯をはじめ、本堂の菊灯、仏飯器などの仏具を丁寧に磨きあげた。

# 現代に合った人権教育必要

話に聴き入る参加者（鷺森ホール）



「御同朋の社会をめざす運動」（実践運動）和歌山教区委員会では6月28日、教区内僧侶・門信徒ら60人が参加して実践運動推進研修会を開催。



講師の北口末広氏

和歌山教区  
委員

## 「部落差別解消推進法」学ぶ

6月28日、鷺森別院で60人が研修

「御同朋の社会をめざす運動」（実践運動）和歌山教区委員会では6月28日、教区内僧侶・門信徒ら60人が参加して実践運動推進研修会を開催。

### 部落差別の解消の推進に関する法律

（平成28年法律第109号）

（目的）

第一条 この法律は、現在もなお部落差別が存在するとともに、情報化の進展に伴って部落差別に関する状況の変化が生じていることを踏まえ、全ての国民に基本的人権の享有を保障する日本国憲法の理念にのっとり、部落差別は許されないものであるとの認識の下にこれを解消することが重要な課題であることに鑑み、部落差別の解消に関し、基本理念を定め、並びに国及び地方公共団体の責務を明らかにするとともに、相談体制の充実等について定めることにより、部落差別の解消を推進し、もって部落差別のない社会を実現することを目的とする。

（基本理念）

第二条 部落差別の解消に関する施策

長）を講師に迎え、「部落差別解消推進法施行の意義と課題」というテーマで研修を行った。

北口さんは、この法律の意義として①「部落差別」という文言を法律の名称に初めて使用し、その第一条（目的）に「現在もなお部

落差別が存在する」ことを明記することで、今日においても重要な課題であることを再確認していること、②部落差別の完全撤廃を目的にすると条文で明確に述べていること、③部落差別意識を撤廃していくための教育・啓発の明確な根拠と成りうる法律であることなどを挙げ、そのポイントを分かりやすく解説。

さらに、今後の差別撤廃に向け、現代の差別事象を踏まえた人権教育を推進する上での課題と、そのための施策について熱心に語り、参加者らは聴き入った。

は、全ての国民が等しく基本的人権を享有するわけがない個人として尊重されるものであるとの理念にのっとり、部落差別を解消する必要性に対する国民一人一人の理解を深めるよう努めることにより、部落差別のない社会を実現することを旨として、行われなければならない。

（国及び地方公共団体の責務）

第三条 国は、前条の基本理念にのっとり、部落差別の解消に関する施策を講ずるとともに、地方公共団体が講ずる部落差別の解消に関する施策を推進するために必要な情報の提供、指導及び助言を行う責務を有する。

2 地方公共団体は、前条の基本理念にのっとり、部落差別の解消に関し、

国との適切な役割分担を踏まえて、国及び他の地方公共団体との連携を図りつつ、その地域の実情に応じた施策を講ずるよう努めるものとする。

（相談体制の充実）

第四条 国は、部落差別に関する相談

に的確に応ずるための体制の充実を図るものとする。

2 地方公共団体は、国との適切な役割分担を踏まえて、その地域の実情に応じ、部落差別に関する相談に的確に応ずるための体制の充実を図るよう努めるものとする。

（教育及び啓発）

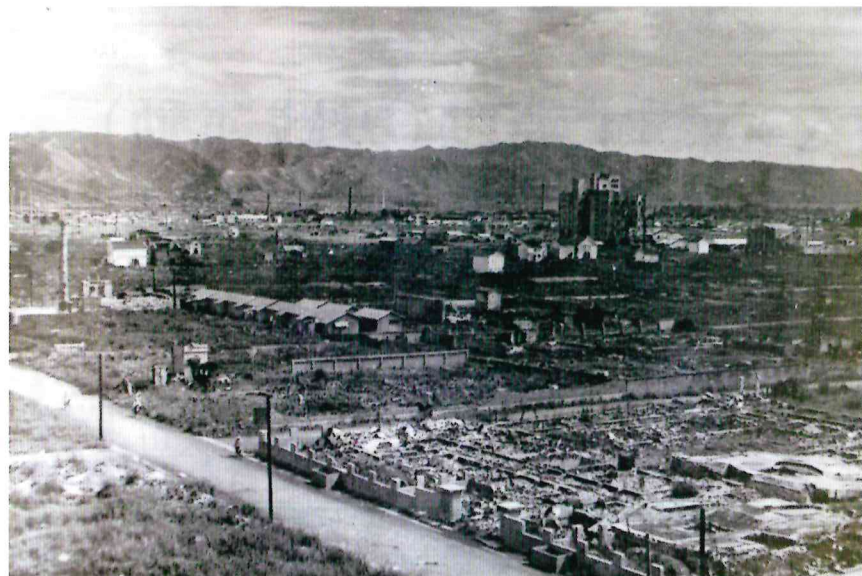
第五条 国は、部落差別を解消するため、必要な教育及び啓発を行うものとする。

2 地方公共団体は、国との適切な役割分担を踏まえて、その地域の実情に応じ、部落差別を解消するため、必要な教育及び啓発を行うよう努めるものとする。

（部落差別の実態に係る調査）

第六条 国は、部落差別の解消に関する施策の実施に資するため、地方公共団体の協力を得て、部落差別の実態に係る調査を行うものとする。

附則 この法律は、公布の日から施行する。



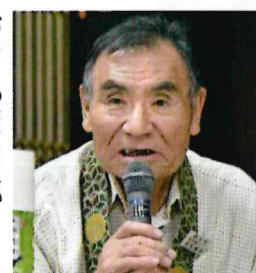
焦土と化した市街地。右奥に見えるのは焼け残った丸正百貨店  
(西汀丁の商工会議所屋上から北東方面を撮影)

# 火の海 今もありありと

## 戦争体験を聞く～和歌山市大空襲～

74年前の1945年(昭和20)7月9日。深夜に和歌山市を襲ったアメリカ軍の大空襲によって市街地は火の海となり、死者1416人、行方不明209人、全焼家屋2万5216戸、罹災者12万3798人に上った(集い当日の配布冊子による)。「第26回平和を希う念仏者の集い」では、この空襲の記憶を風化させまいと、「戦争体験を聞く」と和歌山市大空襲」と題し、児玉順彦さん(和歌山組西法寺門徒)と北氏緋紗さん(和歌山北組教願寺住職)に当時の様子を語っていただいた。聞き手は中田三恵さん(伊那組教善寺住職)。

中田 お二人に空襲時の状況やどうやって避難されたかなどをお聞きしたいと思います。北氏は当時



児玉順彦さん

おいしくでしたか?

北氏 6つでした。生まれたのは三沢町の西教寺で、



空襲直後から戦後復興期の写真を見ながら話す中田三恵さん、北氏さん、中田さん。映写中の写真は昭和30年ごろのざくり丁

お寺の裏手まで焼夷弾が落ちて焼けたんです。母親がはぐれなようにと私を腰紐で結び、2つ下の弟をおんぶして一生懸命逃げたのを覚えてます。目の前に焼夷弾が落ちたり、油の入った一斗缶のような物も落ちて来て、「どうしてあのドラム缶みたいな物落ちてくるの」と聞いたたら、母が「よく燃えるために落としているんじゃない」と言うので、人間て本心にひどいことするもんだなと思いました。なるべく火のない所へとなるべく火のない所へ



本町2丁目にあった丸正百貨店から見た空襲後の和歌山市街(南東方面を撮影)

### 母に連れられ必死で逃げた

北氏

かく空襲警報のサイレンが鳴ると防空壕に入るんですが、自分の着る物は枕元にきちっとたんで置いてました。そして母からこれとこれは持って出なさいといつも教えられていました。中田 児玉さんは、お住まいが焼夷弾の直撃を受けられたそうですね。児玉 私の家は、出口甲賀丁といまして、湊通丁の一つ南側の通りでした。当時、海草中学の3年生

だったんですが、家から中之島の南海航空という所へ働きに行っていました。その時分、3年生以上は工場へ働きに行く。4、5年生は神戸へ行っていました。

焼夷弾 『和歌山県史』などによれば、和歌山市の空襲で投下された焼夷弾は2種類あった。M47焼夷弾は直径約20センチ、長さ約1.2メートル、重さ約32キログラム。形状は先の丸い円筒形。ガソリンなどの混合物をセ

### 家は跡形もなく親戚頼り郊外へ

児玉

空襲の日、私の家にも焼夷弾が2発、床の間と門の所に落ちたんです。こらかんわと思ったら、もうその辺、火の海です。危なくてどうしようもないので、水にぬらした夏布団をかぶって湊御殿の野っ原になってる所まで逃げたんです。その日は、3月10日の東京大空襲で焼け出されて孝子峠の奥のほうに来てた親子

いでこれたというお話でしたが、それから74年経った今もお傷付き深い悲しみのおかげで生きている人がおられるにもかかわらず、戦争をするという言葉を口にする人が出てくる時代になってきました。恐ろしいと感じますが、決して忘れてはならない歴史が薄れつつあるように思えてなりません。最後に、今後に願うことをお聞きしたいと思います。北氏 私は絶対にあの戦争を風化させてしまっはいけないというも思っています。

北アイルランドの平和活動家で、ノーベル平和賞を受賞されたマイレッド・マグワイアさんという女性が、日本各地で講演されたという記事を読売新聞で読んだことがあります。

威の所へ行き、泊めてもらいました。

翌日、歩いて焼け跡まで帰って来ましたが、すべて焼けて家も何もない。父親が借りてきた大八車に焼け残った物を載せて、古井戸に入れてあった茶碗などを引き上げて、親戚の家まで戻りました。

その途中、城北橋を渡っていくんですが、堀川でたくさんの方が亡くなってました。体の上半分は真っ黒こげ、ところが下半分は水ぶくれ、そんな状態の方々を見ながら、城北橋を渡って行きました。

それから、とにかく食べる物がなくて大変でした。みな「闇」で買わなきゃならぬので、皆さん本当に苦



中田三恵さん

労されました。中田 食べ物も簡単に手に入らないなかで命をつな

り1分、マグネシウムの燃焼で金属が溶解するほどの熱と閃光を放った。和歌山市の空襲では、M47焼夷弾が1万2803個、M17焼夷弾が1435個、つまりM50焼夷弾が15万7850個投下されたという。

中田 体験談をお聞かせいただきたいとお願ひしてから数カ月の間、お二人には戦争のことなどつらい記憶のよみがえる日もあったと思います。今日どんな思いでお話してくださったのかと思います。と、私たち一人ひとりが聞かせていただいたことから、命について考え、念仏者としての生き方を問うていかねばと思います。

児玉さんと北氏さんに感謝の拍手をお送りください。ありがとうございます。

2019年度

## 御同朋の社会をめざす運動(実践運動)

和歌山区  
教区

## 重点プロジェクト

## 総合基本計画

和歌山区では、宗門の総合基本計画に基づき、伝灯奉告法要のご親教『念仏者の生き方』に学び、自他ともに心豊かに生きることのできる社会をめざし、さらに僧侶・寺族・門信徒が手を携えて真の同朋教団・伝道教団としての責務を果たすため、次世代を担う人の育成を継続して行い「御同朋の社会をめざす運動」を展開いたします。

## スローガン

「結ぶ絆から、広がる縁へ」

## 活動内容

運動推進にあたり、活動内容を具体的に明確化するため、左記の専門部会を設置し、相互の連携のもとで運動の展開を図ります。

【寺院活動推進部】僧侶・寺族の研修や伝道教化・法

座活動に関すること。

【門信徒教化部】連研、門信徒総研修会、子ども若者へ縁づくり推進に関すること。

【広報伝道部】教区報、テレホン法話、ホームページなど、さまざまな媒体を使用した広報活動に関すること。

【社会問題担当部】部落差別を中心とする差別・人権や平和問題、並びに社会福祉活動に関すること。

## 重点プロジェクト

重点プロジェクトについて

「重点プロジェクト」は、「御同朋の社会をめざす運動」(実践運動)総合基本計画に基づき、具体的な実践目標を定め取り組むものです。

和歌山区では、「重点プロジェクト」の「実践目標」を「へ貧困の克服に向けて」Dana for

## 2団体で新役員就任

## 寺族女性会

▼会長 蘭田秀香(和歌山組妙慶寺)

▼副会長 北條眞理子(和歌山西組浄福寺)、荻

野悦子(加茂組願称寺)

▼会計 刀棚佳容子(海草組積善寺)

▼会計監査 井辺眞智子(和歌山東組勝安寺)、永

原素子(日高組教専寺)

▼委員 北本文恵(和歌山北組浄源寺)、森 万代(海南組教法寺)、藤範奈

津子(伊那組大光寺)、笠井喜代子(有賀組照圓寺)、

妻木禎子(有田南組本勝寺)、近藤みちよ(有田北

組松林寺)、湯川由紀(御坊組源行寺)、小野敬子

(紀南組勝専寺)  
※任期は2019年4月

## 寺族青年連盟

▼委員長 小川眞史(和歌山西組松専寺)

▼副委員長 和田慈仁(和歌山組眞光寺)、荻野

龍裕(海南組浄園寺)

▼会計 辻本眞一朗(和歌山西組西念寺)

▼会計監査 杉山龍法(和歌山北組永正寺)、宇多真海(伊那組光明寺)

▼委員 西岡顯道(和歌山組蓮光寺)、廣田聡美(和歌山西組安樂寺)、山本龍法(和歌山北組浄永寺)、谷口寿博(加茂組安養寺)、稲垣裕己(海草組蓮葉寺)、平林唯香(有田南組福蔵寺)、岩本眞憲(有田北組西明寺)、桒崎教信(日高組寛性寺)、川越顕之(御坊組正覚寺)、佐々木実結(紀南組専光寺)  
※任期は2019年4月1日から2021年3月31日までの2力年度。

＝順不同、敬称略＝

ラジオ放送番組  
みほとけとともに  
- 西本願寺の時間 -

◆毎週土曜日 午前5時50分から  
- 和歌山放送 (WBS) -

|        |         |
|--------|---------|
| 和歌山・串本 | 1431kHz |
| 田辺・すみ  | 1233kHz |
| 橋本・高野山 | 1485kHz |
| 新宮・御坊  | 1557kHz |

寺院と連携しつつ、強力に取り組みを進めていきます。

## 推進期間

2018(平成30)年度から2019(平成31)年度までの2年間

## 推進計画

▼達成目標  
貧困問題について学びを深め、取り組みを進める。

## 推進計画

【2019年度】全組において研修会を開催し、学びを深め取り組みをすすめる。

## 日高組妙願寺の楠原師が 本山の過疎対応支援員に

楠原晃紹師



6月21日付で、和

歌山教区日高組妙願寺(日高町志賀)住職の楠原晃紹師が、石上智康・浄土真宗本願寺派総長から和

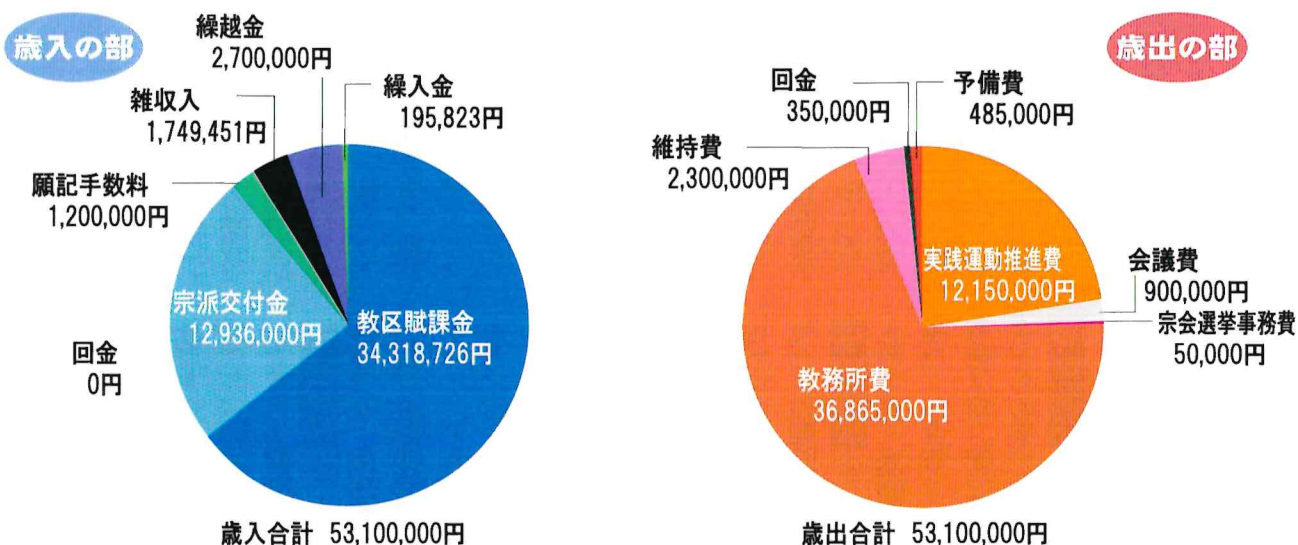
歌山教区過疎対応支援員に任命された。

この過疎対応支援員は、過疎地域などに所在する寺院、並びに過疎化現象から生じる門信徒数の減少などで護持・運営が困難となり、「寺院規程」に定める寺院の目的を果たすことができない、または将来その可能性がある寺院に対して振興及び総合的対応を図るため設置される。その活動は、教区寺院振興対策委員会と協力し、過疎化現象から生じる諸問題の解決・対応及び、寺院及び門信徒、周辺地区と共同で寺おこし事業などを行う場合の支援を行うもの。7月現在で全国31教区のうち10教区に設置され、今後さらに10教区で設置が予定されている。

楠原師は「寺院のご住職・寺族・門信徒の皆さまが抱える諸問題についてお伺いしながら、今後の寺院のあり方、存続の方途などを一緒に考え、寄り添った対応とお手伝いをするのが役割です。問題がすぐに解決するわけではありませんが、連絡を密にして、現状を把握し、宗派や教区、その他関係機関と連携して解決に向けて微力ながら尽力いたす所存です」と抱負。

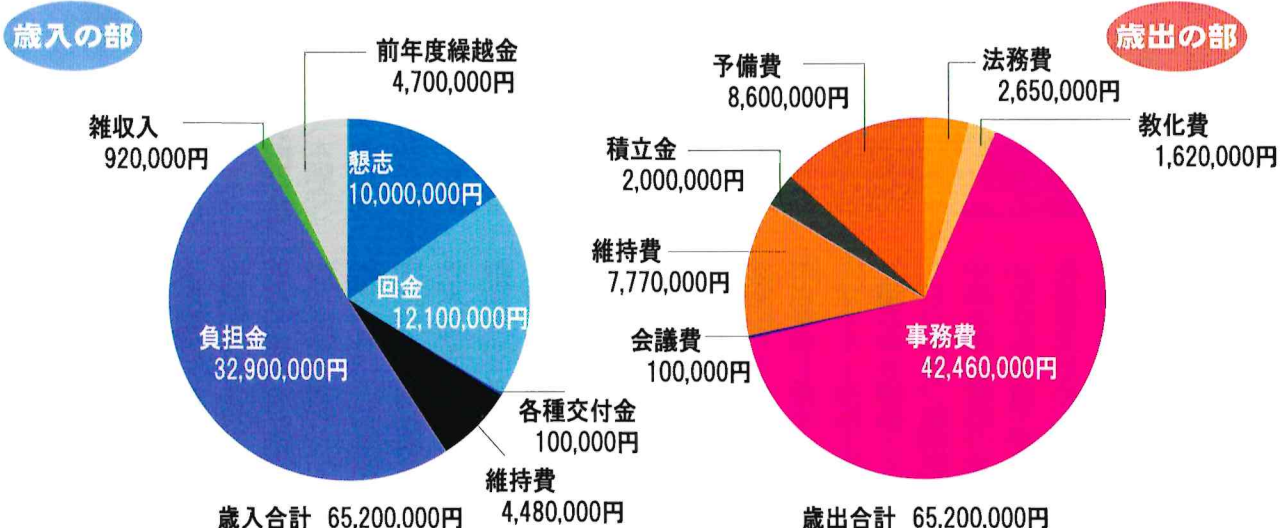
## 2019年度和歌山教区一般会計歳計予算

(2019年4月1日～2020年3月31日)



## 2019年度本願寺鷺森別院一般会計歳計予算

(2019年4月1日～2020年3月31日)



## (81-5022-1)

## ビバーラサロン おしゃべりカフェ ひだまり

日頃の悩みを吐き出しませんか？  
あなたの想いを大事に聞かせていただきます。

匿名可能、託児OK、お気軽に。  
前日までに、お申し込みください。

【日時】10/4(金)、2/3(月)  
午後1時30分～3時30分

【場所】本願寺鷺森別院

【申し込み・お問い合わせ】ビバーラ和歌山  
担当 中田みえ 090-5902-5048

## 第42回西本願寺 近畿地区仏教婦人会大会

【日時】令和元年10月23日(水)  
12時30分開演

【場所】和歌山県民文化会館

【出演】記念公演 チームいちばん星  
記念講演 田中信勝さん  
(仏婦総連盟講師)

詳細は、各寺婦人会宛に送付いたします。  
お誘い合わせぜひご参加ください。

和歌山教区仏教婦人会連盟  
〒640-8053 和歌山市鷺森1番地 本願寺鷺森別院内  
☎(073)422-4677

## 別院・教務所人事

本願寺鷺森別院・和歌山教区教務所に藤本英史師(和歌山北組正念寺)が臨時職員として採用された。

2019年(平成31年)4月1日付人事により、花田和樹賛事(海草組教了寺)が本願寺広島別院・安芸教区教務所へ異動。4月30日付で西岡顯教書記(和歌山東組蓮光寺)が退職。

6月25日付で



着任した藤本英史師

「この度、ご縁があつて本願寺鷺森別院、和歌山教区教務所に奉職することになりました。不慣れな点も多くあり、ご迷惑をおかけすることもあるかと存じますが、和顔愛語を座右の銘とし、一生懸命業務に励む所存です。ご指導と鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます」と抱負。

9月23日、秋季彼岸会をお勤めする。午前10時から11時30分までと、午後1時30分から午後3時までの1日2座。いずれも本堂で仏説阿弥陀經をお勤めし、引き続き法話を聴聞する。

■秋季彼岸会  
8月15日、孟蘭盆会を勤修する。午後1時30分から本堂で仏説阿弥陀經をお勤め。引き続き、午後3時まで仲尾信博輪番の法話を聴聞する。

### 鷺森別院の催し

#### ■孟蘭盆会

8月15日、孟蘭盆会を勤修する。午後1時30分から

■常例法座  
8月16日、岩崎法明師(日高郡田良町・蓮専寺)。  
9月15日、大原仁諦師(橿原市・大願寺)、16日、柳岡直樹師(御坊市・常照寺)。10月15日、田中諦康師(東近江市・稱名寺)、16日、長谷川義則師(海南市・安養寺)。いずれも午後1時30分から別院1階の書院でお勤め、引き続き、午後3時30分まで布教使の法話を聴聞する。

(本願寺鷺森別院 和歌山市鷺森1番地 電話073-422-4677)

## 鷺森別院で夏安居

8月19日  
～20日



講師の内藤知康師

8月19日～20日、鷺森別院で夏安居が開催される。講題は「正信念仏偈」(第10講)、講師は内藤知

康勸学。参加費は1万円(2日目のお弁当代込み)。この夏安居は日高別院にて開催されていたが、2017年(平成29年)度から鷺森別院に場所を換えて行われている。



昨年の講義の様子

59 電話090-5048-9772)まで。

### ▼夏安居日程

8月19日  
午後1時30分 開繙式  
午後2時 開講の偈  
午後5時 終講の偈  
午後5時10分 夕事勤行  
8月20日  
午前9時30分 朝事勤行  
午前10時 開講の偈  
正午 終講の偈、昼食  
午後1時 開講の偈  
午後4時 終講の偈、閉繙式(午後4時30分終了)

# つれもて 聴こら

「弥陀の本願には、老少・善悪のひとをえらばれず、ただ信心を要とすとするべし」(註釈版聖典8331頁)

と、『歎異抄』第一条に親鸞聖人のお言葉が記されています。

私が、若くあっても、年を取っても、善いことをしていても、悪いことをしてしまったりしても、常に阿弥陀さまは、私を救いの目当てとし、南無阿弥陀仏の声となつて働いてくださっているということです。

日本は長寿の国です。3年前のデータですが、男性の平均寿命は約80歳、女性は約87歳。これは世界的にもとても長く、まれな数字です。ここで言う「寿命」は、この世に生を受けて、

息絶えるまでの長さです。

「寿命」には、もう一つの考え方があります。それは医療や福祉のお世話にならずにいられるという意味の「健康寿命」というものです。

## 竹内俊之

こちらは男性が約71歳、女性が約74歳です。平均寿命から健康寿命を引きますと男性は約8年、女性は約13年となり、この年数は、

## 老少・善悪を選ばれず

私たちが病院や介護福祉施設などのお世話になり、あまりの自由には生きられない

時間という事になります。

つまり、息が切れる間際まで、お念仏させていただく、という生き方はなかなか難しいということです。

らです。

まだ幼少の子どもが犠牲になる事件などは、目を背け耳をふさぎたくなります。そのようなニュースの中で、犯人に対して抱いている印象を、近隣の住人や知



ました。なぜかと申しますと、悲しいニュースばかり流れてくるように感じるか

り合いに尋ねる場面がありますが、意外と「感じのいい方だった」「優しい方だった」

人だった」「気さくで真面目な人だった」などと語られることがよくあります。

夏目漱石は『こころ』の中で登場人物に、

「悪い人間という一種の人間が世の中にあると君は思っているんですか。そんな類型に入れたような悪人は世の中にあるはずがありませんよ。」

平生はみんな善人なんです。少なくともみんな普通の人間なんです。それが、いざという間際に、急に悪人になるんだから恐ろしいのです」

というせりふを言わせています。

子どもがむごい虐待をされたニュースなどを聞きますと、子育てを手伝ってくれる人が一人でも居たならば、その結果も変わっていただろうにと思わずにはいられません。

普段は感じのいい優しい方が、仕事に子育てにと追い詰められるうちに、負の感情が大きくなり、いつのまにか自分では望んでいな

い方へ進んでしまったのかもしれません。

私たちは善人でありたいと思っています。しかし、そうなれないような状況に追い詰められてしまつ。そんなときがあるのではないのでしょうか。

私たちは生きていく中で、若いとき、老いたとき、善人であるとき、悪人であるときなど、さまざまな時をつなぎ合わせて生きています。そのすべての時において、阿弥陀さまは私のそばに居てくださり、救いはたらしの中へ納め摂ってくださっているのです。

この口から「南無阿弥陀仏」の「な」の字も出ないようになつたときですら、阿弥陀さまがそばに居てくださる、そのことを思うと自然とお念仏が出てくる。そういった身にお育てくださったことに感謝して、日々の暮らしを送っていきたいものです。

(兵庫県たつの市・浄蓮寺) 5月15日の覽森別院二尊会の法話から